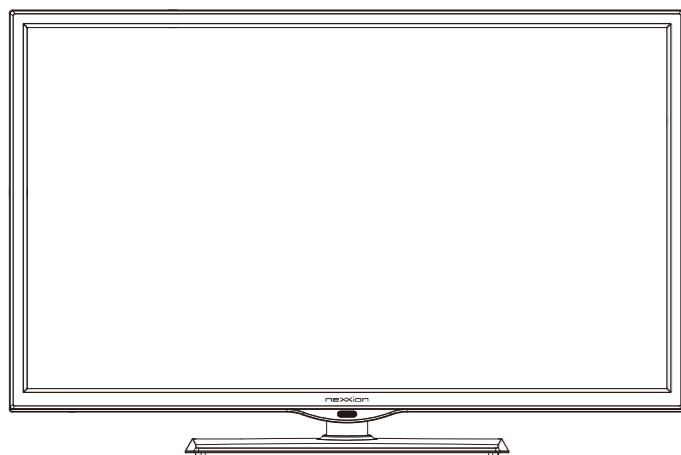


nexxion 外付HDD録画機能搭載
32V型
地上波デジタルハイビジョン液晶テレビ

取扱説明書

型番 WS-TV3259B



安全上のご注意	
使用上のご注意	
付属品	
各部の名称	
リモコンの操作	
テレビをみるための準備	
アンテナの接続	
B-CASカードを挿入する	
はじめての設定	
テレビをみる	
テレビをつける・消す/その他表示	
その他表示/設定	
番組表をつかう	
番組表をみる	
テレビの設定	
チャンネル設定	
視聴設定	
機器設定	
システム	
録画設定	
ハードディスクを接続して番組を録画する	
ハードディスクを接続する	
番組を録画する	
録画したものを再生する/予約リストを見る	
録画の制限事項	
その他外部機器との接続	
HDMI対応機器を接続する	
MHL対応スマートフォンとの接続	
D5映像端子を使って機器を接続する	
ビデオ映像端子を使って機器を接続する	
スピーカーやイヤフォン/ヘッドフォンを接続する	
製品仕様	
故障かも・・・と思ったら	
アフターサービス/お問い合わせ	

目次(詳細)

安全上のご注意	P4-P6
使用上のご注意	P7-P8
付属品	P9
各部の名称	P10-P11
リモコンの操作	P12-P13
テレビをみるための準備	
アンテナの接続	P14
B-CASカードを挿入する	P15
はじめての設定	P16-P17
テレビをみる	
テレビをつける・消す/その他表示	P18
その他表示/設定	P19-P21
番組表をつかう	
番組表をみる	P22-P23
チャンネル設定	P24-P25
テレビの設定	
視聴設定	P26-P28
機器設定	P29-P30
システム	P31-P32
録画設定	P33-P34
ハードディスクを接続して番組録画する	
ハードディスクを接続する	P35
番組を録画する	P36
録画したものを再生する/予約リストを見る	P37-P38
録画の制限事項	P39
HDMI対応機器を接続する	P40
MHL対応スマートフォンを接続する	P41
その他外部機器との接続	
D5映像端子を使って機器を接続する	P42
ビデオ映像端子を使って機器を接続する	P43
スピーカーやイヤフォン/ヘッドフォンを接続する	P44
製品仕様	P45
故障かも・・・と思ったら	P46-P47
アフターサービス/お問い合わせ	背表紙



お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。この取扱説明書は大切に保管しておいてください。弊社サポートセンターにお問い合わせの際には製品背面のラベルに記載されております製品型番と製品番号をお確かめください。

はじめに
本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の性能を十分に発揮させ、安全に使用していただくために本取扱説明書を必ずお読みください。ご理解いただけず万が一、損害を被られた場合、当社では一切の責任を負いかねます。

必ず最初にお読みください

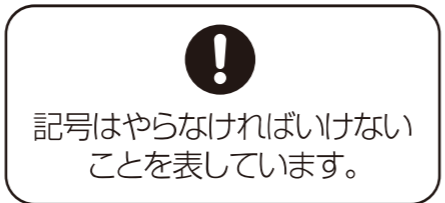
ご使用前にこの「安全上のご注意」を必ずよくお読みいただき、製品を安全に正しくご使用ください。

この取扱説明書および製品には、お客様や他の人々への危害または財産への損害を未然に防止し、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。

表示と図記号は次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

警告 この絵表示は人が死亡または重症を負うおそれがある内容を表示しています。

注意 この絵表示は人がけがをしたり財産に損害を受けたりするおそれがある内容を示しています。



警告

異常や故障のおそれがあるとき

- ❗ 煙やにおい、音などの異常が発生したら、ただちに電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。お買い上げ店またはサポートセンターまでご連絡ください。
- ❗ 内部に水や異物が入ったときは、ただちに電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。
- ❗ 電源コードや電源プラグが損傷したり、発熱したりしたときは、ただちに電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。
- ❗ キャビネットや液晶パネルを落としたり、ぶつけたりして破損したときは、ただちにプラグを抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。本体を破損したまま取り扱おうと、けがのおそれがあります。お買い上げ店またはサポートセンターまでご連絡ください。

設置するとき

- ⊘ ぐらつく台、傾いた台など不安定な場所に置かないでください。落下、転倒により、けがの原因となります。
- ⊘ 風呂場やシャワー室、キッチンやサウナなど水気がある場所では使用しないでください。火災、感電の原因となります。
- ⊘ アンテナ工事は技術と経験が必要ですのでご自分では決して行わないでください。

必ず最初にお読みください

必ず最初にお読みください

警告

使用するとき

- ⊘ 交流100V以外の電源で使わないでください。交流100V以外の電源で使用すると火災、感電の原因となります。
- ⊘ 異物を入れないでください。通風孔などからものを入れると、火災や感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。
- ⊘ 電源コードの上に重いものを乗せたり、本機の下敷きにししないでください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。
- ⊘ 電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱しないでください。電源コードが損傷した場合は新しいものと交換してください。
- ⊘ 電源コードを熱器具に近づけないでください。ビニールの被覆が溶けて、火災、感電の原因となります。
- ⊘ 電源コードを抜く際には、電源コードを引っ張らないでください。電源コードが損傷し、火災、感電の原因となります。
- ⊘ テレビの裏蓋をはずしたり、改造や分解をしないでください。テレビ内部には電圧の高い部分があるため、触ると感電の原因となります。
- ⊘ 雷が鳴り出したら、アンテナケーブルや電源ケーブルに触れないでください。感電の原因となります。
- ❗ 電源プラグの付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜き、乾いた布で取り除いてください。火災、感電の原因となります。

注意

設置するとき

- ⊘ 通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部の熱が逃げなくなり火災の原因となることがあります。
 1. 風通しのよくないところに入れたり、カーテンや布団、布などをかけたりしないでください。
 2. 周囲の家具や壁から10cm以上の間隔をあけて設置してください。
- ⊘ 湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かないでください。調理器具や加湿器などのそばに置くと火災、感電の原因となることがあります。

必ず最初にお読みください

必ず最初にお読みください

必ず最初にお読みください

⚠ 注意

使用するとき

- ❌ ぬれた手で電源プラグを取り扱わないでください。
感電の原因となります。
- ❌ タコ足配線をしないでください。
火災、感電の原因になることがあります。
- ❌ 電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しないでください。
不完全な接続は発熱して火災の原因となります。
- ❌ 移動するときは、接続コード類をすべてはずしてください。
接続コード類をはずさずに移動させると、電源コードが傷つき、火災、感電、けがの原因となることがあります。
- ❌ お手入れするときや長時間使用しないときは電源プラグを抜いてください。
火災、感電の原因になることがあります。
- ❌ スタンドの下にものを置かないでください。
スタンドの下にものを置いた場合、転倒しやすくなり、液晶パネルが割れたり、故障の原因となることがあります。
- ❌ 液晶画面をたたきなどの衝撃を与えないでください。
液晶パネルが割れて、火災、感電の原因になることがあります。
- ❌ リモコンには指定以外の電池や新しい電池を古い電池と混ぜて使わないでください。
破裂や液漏れにより、火災、感電の原因になることがあります。
- ❗ リモコンに電池を入れるときは極性(プラスマイナス)の向きに注意してください。
破裂したり液漏れにより、火災、感電の原因になることがあります。
- ❗ 電源プラグはコンセントに根元まで確実に接続してください。
接続が不完全ですと発熱やほこりが付着して火災、感電の原因になることがあります。
また、電源プラグに触れると感電することがあります。

必ずお守りください

必ずお守りください

知っておいていただきたいこと

- 本体が熱くなる場合があります
長時間使用すると、熱を逃がすために本体が熱くなる場合があります。ご注意ください。
- 国外では使用できません
この製品が使用できるのは日本国内だけです。国外では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This product is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
- 液晶パネルのドット欠けについて
液晶モニターは90万~220万の画素により画面が表示されていますが、製造過程において画素にいくつかの欠けが出る場合があります。液晶パネル上に黒点(点灯しない点)または白点(点灯したままの点)などのドット欠けが見られる場合がありますが、これは液晶パネルの製造上、回避できない現象であり、欠陥品ではございません。
このようなドット欠けにつきましては返品や修理の対象外となりますのであらかじめご了承ください。

守っていただきたいこと

- キャビネットのお手入れのやりかた
キャビネットにはプラスチックが多く使用されています。
ベンジン、シンナーなどで拭いたりすると変質し、塗料がはげる場合がありますので使用しないでください。
殺虫剤など、揮発性のものを使用しないでください。また、ゴムやビニール製品などを長い時間接触させたままにしないでください。プラスチックに含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
汚れはネルなどの柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げをしてください。
- 電源・電圧について
指定の電源電圧以外では使わないでください。
指定以外の電源電圧を使用した場合は故障の原因となります。
- 取り扱い上のご注意
液晶パネルを強く押さえないように、また、落としたり叩くなどの強い衝撃を与えないようにしてください。
液晶パネルが割れ、けが、故障の原因となり危険です。振動の激しいところや不安定なところに置かないようお願いします。
また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。
- B-CASカードの抜き差しについて
地上デジタル放送は著作権保護のためB-CASカードを挿入していないとスクランブルがかかり視聴することができません。
B-CASカードは必要のない限り、抜かないでください。B-CASカードにはICチップが内蔵されていますので、折り曲げたり、衝撃を与えたり、端子部に触れたりしないようにしてください。B-CASカードは正しい向きでしっかりと挿入してください。
- アンテナについて
妨害電波受信の影響を避けるため、交通の頻繁な道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。万が一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
アンテナ線を不必要に長くのばしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になるおそれがあります。
アンテナは風雨にさらされるため、定期的な点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧いただけます。特に煤煙の多いところや潮風にさらされる場所では、アンテナが痛みやすくなります。

必ずお守りください

知っておいていただきたいこと

電磁波妨害にご注意ください

製品の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生することがあります。

画面の焼き付きについて

静止画など長時間同じ画面を表示し続けたり、16:9の映像を画面比率4:3で長時間ご覧になったりすると、液晶パネルに焼き付きが生じることがありますのでご注意ください。視聴時にはフルスクリーンでのご視聴をお勧めします。

直射日光・熱気は避けてください

窓を閉め切った自動車の車内など異常に温度が高くなるところに放置をすると、キャビネットが変形したり、故障の原因となるおそれがあります。

直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は避けてください

急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は表示品位が低下する場合がありますのでご注意ください。

低温になる部屋(場所)でのご使用の場合

ご使用になる部屋(場所)の温度が低温の場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがあります。故障ではありません。常温に戻れば回復します。

低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因になります。
(保存温度:-20℃~+60℃ / 使用温度:0℃~+35℃)

ステッカーやテープなどを貼らないでください

キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

長時間ご使用にならない場合

長時間ご使用にならないと機能に支障をきたすことがあります。ときどき電源を入れて作動させてください。

製品本体および添付品廃棄の場合

各地方自治体の指示(条例)に従って処理してください。

別売の録画用ハードディスクの取り扱いについて

保管する際は、静電気や電磁波の発生するところを避けてください。

USB端子部に、ゴミやほこりといった異物を付着させないでください。

落としたり、衝撃を与えないでください。

液体をかけないでください。

シールやテープを貼ると、USBコネクタに抜き挿しできなくなったり、USBコネクタを破棄させる可能性がありますのでおやめください。

録画した番組について

録画用ハードディスクに保存した番組は、誤操作や製品の故障によって消失する可能性があります。

録画用ハードディスクに保存した番組は、磁気や電波妨害によって消失する可能性があります。

録画用ハードディスクに保存した番組は、温度や湿度、日射の影響によって消失する可能性があります。

録画した番組が、ハードディスクの取扱により消失したことによる損害(二次的損害を含む)については弊社では責任を負いかねます。

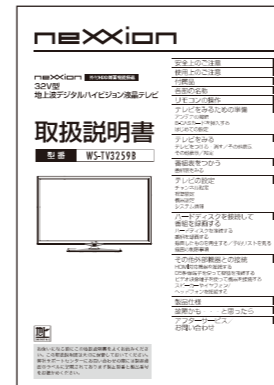
付属品

本製品をお使いになる前に、付属品を確認してください

 付属品をご確認ください。

本製品をお取り扱いになる前に、以下のものが全てそろっているか確認してください。万が一、不足しているものや破損しているものがある場合はお買い上げ店、または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

取扱説明書(本書)



リモコン



B-CASカード



※台紙から外してご使用ください。
※カードのID番号は大切に保管してください。

リモコン用乾電池2本
(単4形・動作確認用)



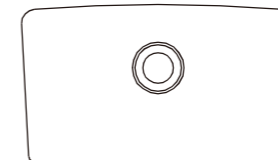
スタンド取付用ネジ
(4コ)



保証書



スタンド



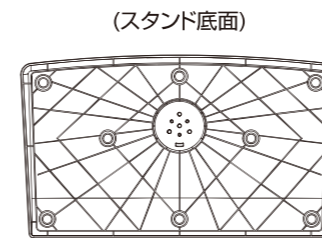
スタンド用部品



スタンドの組み立て方

 市販のプラスドライバーをご用意ください。

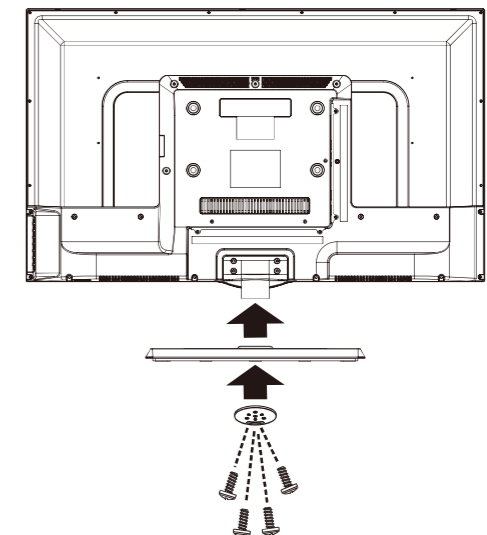
1. 本体に取り付ける台座の向きを確認



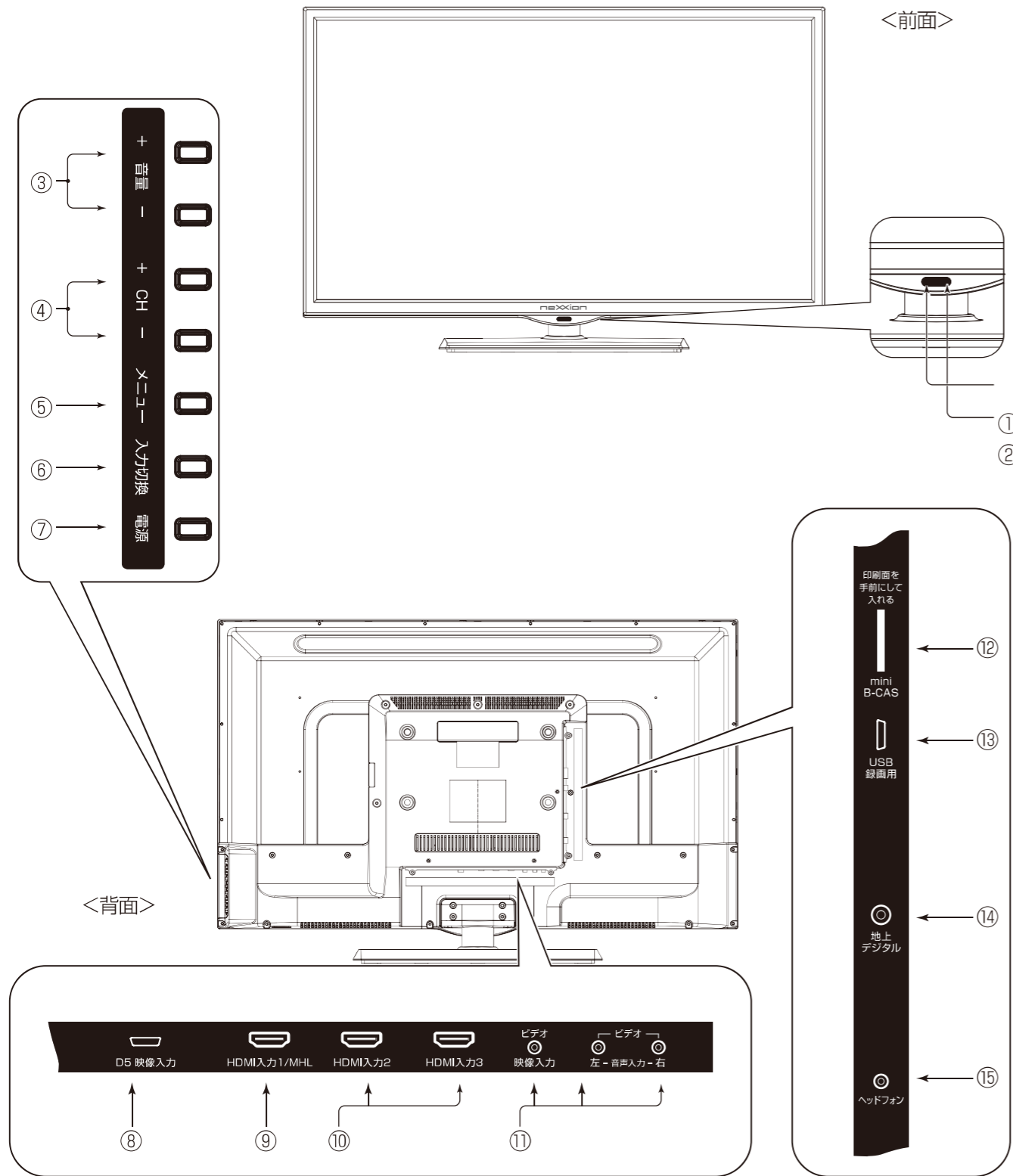
<本体ディスプレイ側>

※ネジは付属品です。
※ゆるみの無いようにしっかりと取り付けてください。

2. スタンド底側から4箇所ネジでとめる。



各部の名称



上図は本製品の略図です。図は実際の製品とは異なることがあります。

各部の名称

- ① リモコン受信部**
リモコンの信号を受信する部分です。
※リモコンは受信部に向けて操作してください。
また、受信部近くに遮へい物を置かないようにしてください。
- ② 電源表示ランプ**
電源がオンのときは緑色に点灯します。
電源がスタンバイ状態のときは赤色に点灯します。
- ③ VOL+ (音量+) / VOL- (音量-)**
音量の調整に使用します。
- ④ CH+ (チャンネル+) / CH- (チャンネル-)**
チャンネルの選択に使用します。
- ⑤ メニューボタン**
設定メニュー画面を表示します。
- ⑥ 入力切換ボタン**
テレビ、ビデオ、D端子、HDMI1、HDMI2、HDMI3の順で入力切換をおこないます。
- ⑦ 電源ボタン**
電源のオン/オフに使用します。

- ⑧ D5映像入力端子**
D映像ケーブル(市販品)を接続します。
- ⑨ HDMI1 (MHL)入力端子**
HDMIケーブル/MHLケーブル(市販品)を接続します。
- ⑩ HDMI2 / HDMI3入力端子**
HDMIケーブル(市販品)を接続します。
- ⑪ AV入力端子**
AVケーブル(市販品)を接続します。
- ⑫ mini B-CASカード挿入口**
mini B-CASカードを挿入します。
※カードの向きにご注意ください。
- ⑬ 録画用USB端子**
別売の録画用ハードディスクを接続します。
- ⑭ アンテナ入力端子 (地上デジタル)**
アンテナ線(市販品)で壁などのアンテナ端子と接続します。
- ⑮ イヤホン / ヘッドフォン端子**
イヤホン/ヘッドフォン(市販品)を接続します。

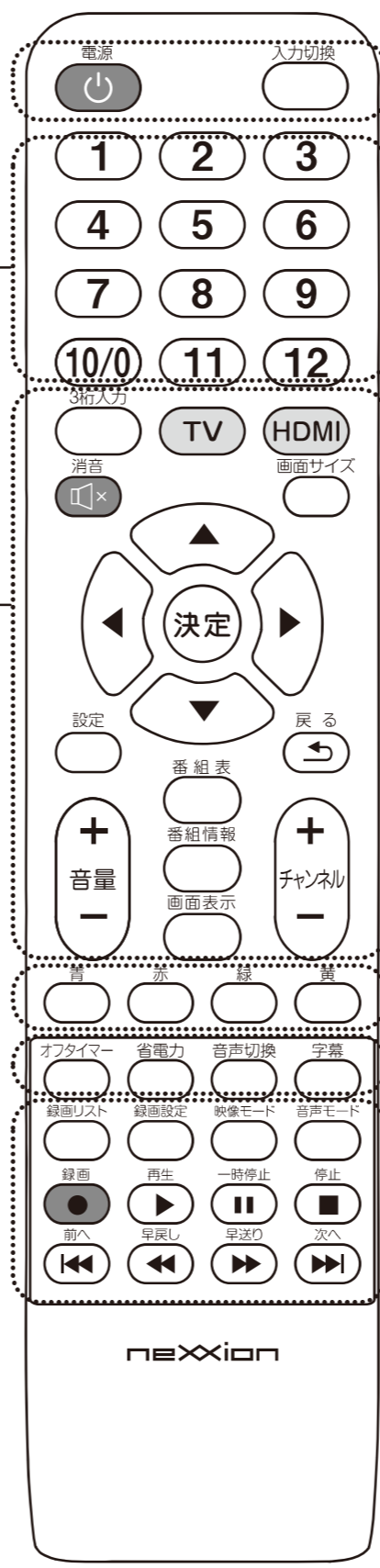
リモコンの操作

リモコンの操作

リモコンの操作

リモコンの操作

1 12	各番号に割り当てられたチャンネルに切り換わります。 <small>詳しくは P18へ</small>
3桁入力	チャンネル固有の番号を入力して、チャンネルを選択する時に使用します。 <small>詳しくは P18へ</small>
TV	テレビ以外の入力モードの時に押すと、地デジモードに切り換わります。 <small>詳しくは P21へ</small>
HDMI	HDMI以外の入力モードのときに押すと、HDMIモードに切り換わります。 <small>詳しくは P21へ</small>
消音	一時的に音を消します。 もう一度ボタンを押すと解除されます。 <small>詳しくは P18へ</small>
画面サイズ	画面サイズが切り換わります。 ※放送によってはサイズ切替ができない場合があります。 <small>詳しくは P21へ</small>
設定	設定メニュー画面を表示します。 <small>詳しくは P24-34へ</small>
戻る	表示されているメニュー画面などを1つ前の画面に戻すことができます。
番組表	現在放送している番組からそれ以降に放送予定の番組一覧表が表示されます。 <small>詳しくは P22へ</small>
番組情報	番組視聴中にボタンを押すと、画面に番組内容が表示されます。 <small>詳しくは P19へ</small>
画面表示	現在の受信チャンネル情報を表示することができます。 <small>詳しくは P18へ</small>
+ 音量	音量の調整に使用します。 <small>詳しくは P18へ</small>
+ チャンネル	チャンネルの切替に使用します。 <small>詳しくは P18へ</small>



電源	電源プラグがコンセントに差し込まれた状態で押すと、スタンバイ状態の時はスタンバイ解除、電源が入っている時はスタンバイ状態になります。 <small>詳しくは P18へ</small>
入力切替	ボタンを押すごとに、テレビ、ビデオ、D端子、HDMI1、HDMI2、HDMI3の順で入力切替を行います。 <small>詳しくは P40-43へ</small>
青 赤 緑 黄	設定メニュー画面、電子番組表等で、割り当てられている操作を実行します。
オフタイマー	ボタンを押すごとに自動的にテレビをスタンバイ状態にする時間を選択できます。 選択した時間が過ぎると自動的にスタンバイ状態になります。 <small>詳しくは P20へ</small>
省電力	画面の明るさを抑え、テレビの消費電力を通常より減らすことができます。 <small>詳しくは P20へ</small>
音声切替	地上デジタル放送の2カ国語放送や音声多重放送受信時に音声言語を切り換えます。 ※放送によっては音声言語が切り換えできない場合があります。 <small>詳しくは P20へ</small>
字幕	受信している放送が字幕放送の場合、字幕を表示します。 <small>詳しくは P21へ</small>
録画リスト	録画番組の一覧を表示します。 <small>詳しくは P38へ</small>
録画設定	録画予約リスト画面を表示します。 <small>詳しくは P36へ</small>
映像モード	映像設定の切替に使用します。 <small>詳しくは P19へ</small>
音声モード	音声設定の切替に使用します。 <small>詳しくは P19へ</small>
録画	現在視聴している番組を録画します。 <small>詳しくは P36へ</small>
再生	一時停止した録画番組を再度再生します。 <small>詳しくは P37へ</small>
一時停止	録画番組を一時停止します。 <small>詳しくは P37へ</small>
停止	録画番組の再生を停止します。 <small>詳しくは P37へ</small>
前へ	録画番組再生時、再生中の番組の一つ前に録画されている番組の再生に切り換わります。 <small>詳しくは P37へ</small>
早戻し	録画番組の早戻しを行います。 <small>詳しくは P37へ</small>
早送り	録画番組の早送りをを行います。 <small>詳しくは P37へ</small>
次へ	録画番組再生時、再生中の番組の次に録画されている番組の再生に切り換わります。 <small>詳しくは P37へ</small>

電池の入れ方 **リモコンには単4電池2本が必要です。**

- 1 リモコン背面の電池カバーを取り外してください。
持ち上げ式
- 2 電池の向きに注意して電池を入れ、カバーを元に戻します。
※リモコンは本体受信部から5メートル以内左右30度以内でご使用ください。

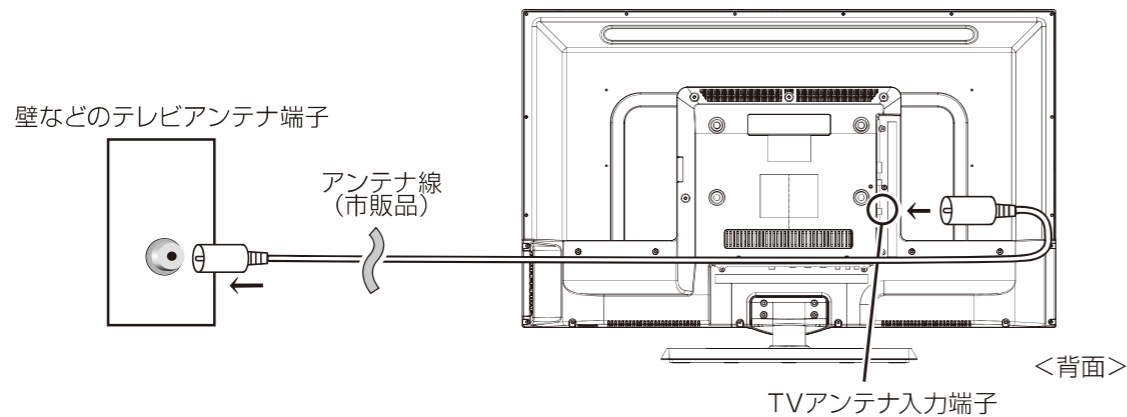
アンテナの接続

1 アンテナと本体をつなぐ

アンテナ線で壁などのアンテナ端子と本体のアンテナ入力端子を接続します。

※アンテナ線はゆるまない程度に手で締めつけてください。

※工具などを使って締めつけ過ぎないようにしてください。故障の原因となることがあります。



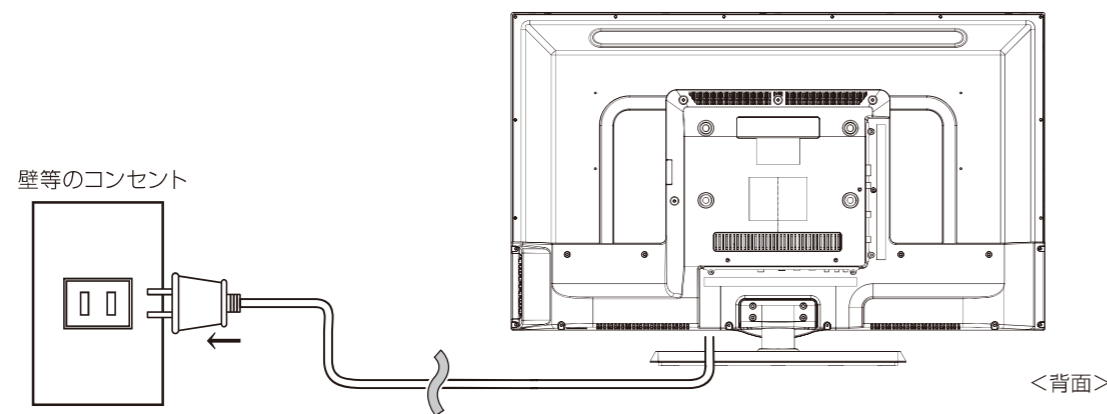
※本製品にアンテナ線は付属していません。

※上図は接続の略図です。図は実際の接続部とは多少、異なることがあります。

※地上デジタル放送をご覧になるときは、地上デジタル放送の信号が受信されていることをご確認ください。

2 電源コードをコンセントに接続する

電源コードの先端のプラグをコンセントに差し込みます。本体の電源ランプが点灯しますので本体下部にある電源ボタン、もしくはリモコンの電源ボタンを使って電源をオンにします。



※上図は接続の略図です。図は実際の接続部とは多少、異なることがあります。

※リモコンの電池がきちんと入っていることを確認してください。

※電源を入れてから画面が映るまでに十数秒かかります。画面が表示されるまで少しお待ちください。

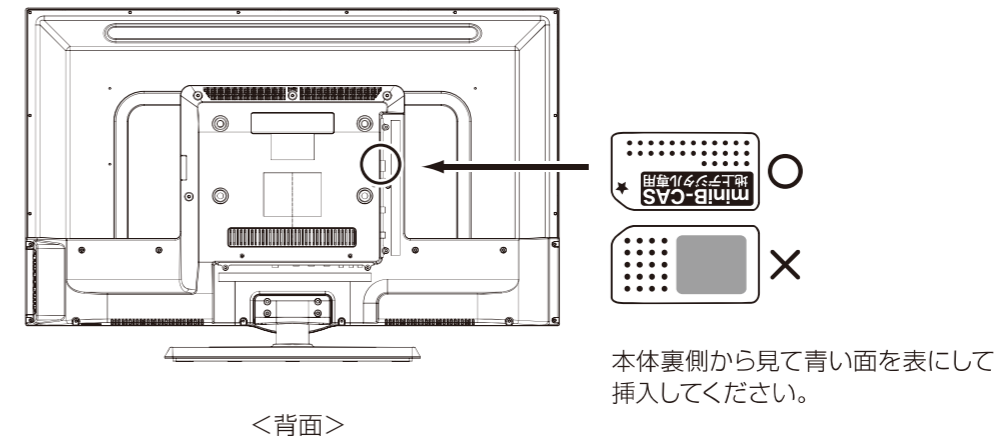
※画面切換時の注意

SD信号[ビデオ等の外部機器、D1 (525i) 映像、D2 (525P) 映像]などからHD信号[地上デジタル放送、D3 (1125i) 映像、D4 (720P) 映像、D5 (1080P) 映像、HDMI (1080P) 映像]などに画面を切り換える時、信号に合わせて本製品内部で画面調整を行うため、画面が一瞬ちらつくことがあります。故障ではありません。

B-CASカードを挿入する

B-CASカードを挿入口に差し込む

B-CASカードは正しい向きで挿入口にしっかり奥まで差し込んでください。



※B-CASカードを差し込むときはテレビの電源をオフにしてから差し込んでください。

※地上デジタル放送は著作権保護のためB-CASカードを挿入していないとスクランブルがかかって視聴することができません。

※カード裏面の記述は実物と異なる場合があります。

※同封の「B-CASカード仕様承諾約款」の内容を読み了承された上で台紙からB-CASカードを取り外してください。

※B-CAS用ユーザー登録はがき台紙の内容やB-CASカードに関する質問など不明な点がある場合は

B-CASカスタマーセンター(TEL: 0570-000-250)へお問い合わせください。

※B-CASは(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略です。

地上デジタル放送が受信できないと思ったら、

- ① 地上デジタル放送の受信エリア内であること
 - ② 地上デジタル放送を受信できる適切なアンテナがあること
 - ③ B-CASカードが正しく挿入されていること
- をご確認ください。

はじめての設定

開封後、はじめて電源を入れた時、画面は自動的に地上デジタルの初期ユーザー設定画面が表示されます。

<注意>画面の表示は実際のものとは多少異なる場合があります。

1 電源をつける

コンセントを差し込むと電源がスタンバイになり、本体の電源ランプが赤色に点灯します。本体の電源ボタン、またはリモコンの電源ボタンを使って電源をオンにします。(緑色点灯)

※電源ボタンを押してから画面が映るまでに十数秒かかります。画面が表示されるまでお待ちください。

2 言語設定

地上デジタルの設定画面が表示されますので、使用する言語を矢印ボタンで選択して決定ボタンを押してください。使用言語は日本語か英語を設定することができます。



3 アンテナとB-CASカードの確認

アンテナが正しく接続されていること、B-CASカードが正しく挿入されていることを確認して決定ボタンを押します。



4 省エネモード

省エネモードの設定画面が表示されますので、お好みの設定を矢印ボタンで選択して決定ボタンを押してください。省エネモードはオフ→低→中→高の順で設定することができます。

※省エネモードは後で設定メニュー画面から変更することが可能です。(→P20)



5 地域設定

お住まいの地域の選択画面が表示されますので、矢印ボタンでお住まいの都道府県を選択して決定ボタンを押してください。



使用するボタン

白い部分を使用するボタンです。



はじめての設定

6 チャンネルスキャン

スキャン方法の選択画面が表示されます。矢印ボタンでスキャンの種類を「初期スキャン」対象周波数を「全周波数」、お住まいの受信地域を選択して決定ボタンを押してください。チャンネルスキャンが始まります。スキャンが完了するまで数分かかりますのでしばらくお待ちください。



7 スキャン完了

スキャンが完了すると受信したチャンネルのリストが表示されますので、決定ボタンを押してください。



8 設定終了

セットアップの内容が表示されますので、矢印ボタンで終了を選択し決定ボタンを押してください。



■ 設定を完了しても何も映らないときは・・・

アンテナや、本体とケーブル類との接続が正しくない可能性があります。以下をご確認のうえ再度設定をお確かめください。

- ①入力は「地上デジタル」に切り換えていますか？
切り換えていない場合、リモコンの「TV」ボタンを押して入力を地上デジタルに切り換えてください。
- ②地上デジタル放送の受信方法はどちらですか？

屋外アンテナの場合

アンテナが地上デジタル対応のUHFアンテナもしくはVHF/UHFの混合アンテナになっているか確認してください。詳しくは電器店またはアンテナ設置業者にご相談ください。

ケーブルテレビの場合

ご契約されているケーブルテレビの伝送方式がパススルー方式であるか確認してください。伝送方式が不明な場合はご契約されているケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

- ③地上デジタルの受信レベルは60%以上ですか？(受信レベルの確認方法はP24を参照)

60%未満の場合

電波が弱いもしくは電波障害の可能性がります。詳しくはお買い上げ店またはお近くの電器店にご相談ください。

60%以上の場合

アンテナ線などケーブル類の接続に間違いがないか確認し、チャンネルの再設定をしてください。

使用するボタン

白い部分を使用するボタンです。



テレビをつける・消す / その他表示

準備ができたらすぐに地上デジタル放送をみることができます。

<注意>画面の表示は実際のものとは多少異なる場合があります。

電源をつける

コンセントに電源プラグを差し込むと電源がスタンバイになり、本体の電源ランプが赤色に点灯します。

本体、またはリモコンの電源ボタンを使って電源をオンにします。(緑色点灯)

※電源ボタンを押してから画面が映るまでに十数秒かかります。画面が表示されるまでお待ちください。

消す

もう一度電源ボタンを押すと画面が消え、スタンバイ状態になります。

チャンネルを変える

- ①数字ボタンでみたいチャンネルを選択することができます。
※チャンネル表示は約5秒で消えます。
- ②本体のチャンネル+/-ボタンもしくはリモコンのチャンネル+/-ボタンを押すと、チャンネルの番号順にチャンネルを選択することができます。
- ③3桁入力ボタンを押して次に数字ボタンでみたいチャンネルの番号を押すと、チャンネルを変えることができます。もう一度ボタンを押すか、戻るボタンを押すと表示が消えます。

音量を調整する

本体のまたはリモコンの音量+/-ボタンを押すと、音量を調整することができます。

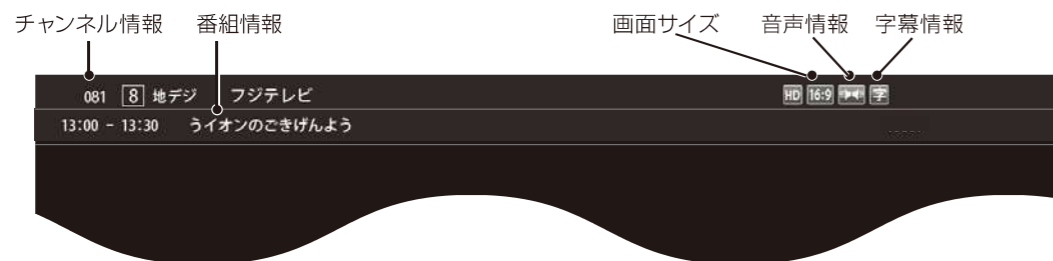
消音する

消音ボタンを押すと一時的に音が消えます。もう一度ボタンを押すと元の音量に戻ります。

チャンネル情報を表示する

画面表示ボタンを押すと、現在見ているチャンネルの情報を表示することができます。もう一度ボタンを押すか、戻るボタンを押すと表示が消えます。

※チャンネル表示は約5秒で消えます。



使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



その他表示 / 設定

番組情報

番組情報ボタンを押すと、現在見ている番組の情報を表示することができます。戻るボタンを押すと表示が消えます。

※番組情報は表示に多少時間がかかることがあります。



映像モードを変更する

映像モードを切り換えることができます。映像モードボタンを押すと、設定できる映像モード(標準・スポーツ・映画・ゲーム・鮮明・溫和・ユーザー)が表示されますので、矢印ボタンを押してお好みの映像モードを選択し決定ボタンを押します。

※映像モードの設定は設定メニュー画面からも行うことができます。(→P26)

音声モードを変更する

音声モードボタンを切り換えることができます。音声モードボタンを押すと、設定できる音声モード(標準・映画・ニュース・音楽・ユーザー)が表示されますので、矢印ボタンを押してお好みの音声モードを選択し決定ボタンを押します。

※音声モードの設定は設定メニュー画面からも行うことができます。(→P27)

使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。

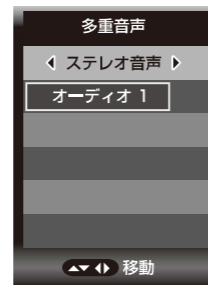


その他表示 / 設定

音声を切り換える

- ① 音声多重放送、または二重音声放送受信時、音声切換ボタンを押すと音声言語を切り換えることができます。
- ② 音声言語は矢印(左右)ボタンで「ステレオ」⇒「左音声」⇒「右音声」の順に切り換えることができます。

※受信している放送によって音声表示が異なることがあります。
 ※外付チューナーやチューナー内蔵のDVDレコーダーなどを使用して二重音声を聞く場合は必ずチューナー側の出力が二重音声で出力されるよう設定してください。
 ※音声切換画面は約10秒後に表示が消えます。



使用するボタン

白い部分を使用するボタンです。



オフタイマーを使う

- ① 設定した時間になると自動的に本体の電源をスタンバイ状態にすることができます。
- ② オフタイマーボタンを押すと、オフタイマーの設定時間が表示されます。矢印ボタンで設定時間を オフ⇒30分⇒60分⇒120分⇒180分の順で切り換えて、決定ボタンを押して設定します。戻るボタンを押すと元の画面に戻ります。



オフタイマー：オフ

指定時間の1分前になるとオフタイマーの作動を伝えるメッセージが表示されます。

- ③ オフタイマーを取り消したいときには、オフタイマーボタンを押して、タイマーの時間を「オフ」に設定します。
- ④ オフタイマーの設定時間を変更したいときには、オフタイマーボタンを押して、タイマーの時間をお好みの時間に設定しなおします。

※オフタイマー設定画面は約5秒後に表示が消えます。

省エネモード設定をする

画面の明るさを抑え、消費電力を節約することができます。省電力ボタンを押すごとに「オフ」⇒「低」⇒「中」⇒「高」の4つのなかから省エネ設定を選択することができます。省エネ設定は高くするほど画面が暗くなります。

※省エネモード設定画面は約5秒後に表示が消えます。

省エネ設定：オフ

その他表示 / 設定

画面サイズを変更する

画面比を切り換えることができます。画面サイズボタンを押すと、設定できる画面サイズが表示されますので、矢印ボタンを押してお好みのサイズを選択し決定ボタンを押します。



自動	自動的に画面サイズを調整します。
4:3	4:3(主にアナログ世代の放送、映像)の画面サイズ。
映画	映画のスクリーンに合わせた画面サイズ。
ワイドスクリーン	HD放送(16:9)を表示するときに使用します。

※放送や映像によって画面サイズは自動的に調整されることがあります。
 ※放送や映像によっては画面比の切り換えができないことがあります。
 ※画面サイズ切換表示は約5秒後に表示が消えます。

字幕を表示する

- ① 字幕放送時に字幕ボタンを押すと番組の音声などを字幕で表示することができます。
- ② 字幕ボタンを押して、矢印ボタンで字幕オフ⇒第一言語⇒第二言語…の順で切り換えて、決定ボタンを押して設定します。放送波に含まれる字幕データにより、選択できる言語は変わります。

※放送によっては設定しても字幕が表示されない場合があります。
 ※字幕放送に対応している地上デジタル放送の番組でのみ利用することができます。
 ※映像自体に字幕が表示されている場合は「字幕オフ」に設定しても字幕が表示されます。
 ※字幕は放送信号や処理の速度によって多少画面との時間のずれが生じることがありますが、故障ではありません。
 ※字幕の設定は設定メニュー画面からも行うことができます。(→P28)

地デジモードにする

地デジ以外の映像入力の時にTVボタンを押すと、地デジモードになります。

HDMIモードにする

HDMI以外の映像入力の時にHDMIボタンを押すと、HDMIモードになります。

※HDMI対応機器を接続している場合使用することができます。
 ※HDMI対応機器の接続方法は「HDMI対応機器を接続する(P40)」をご覧ください。

使用するボタン

白い部分を使用するボタンです。



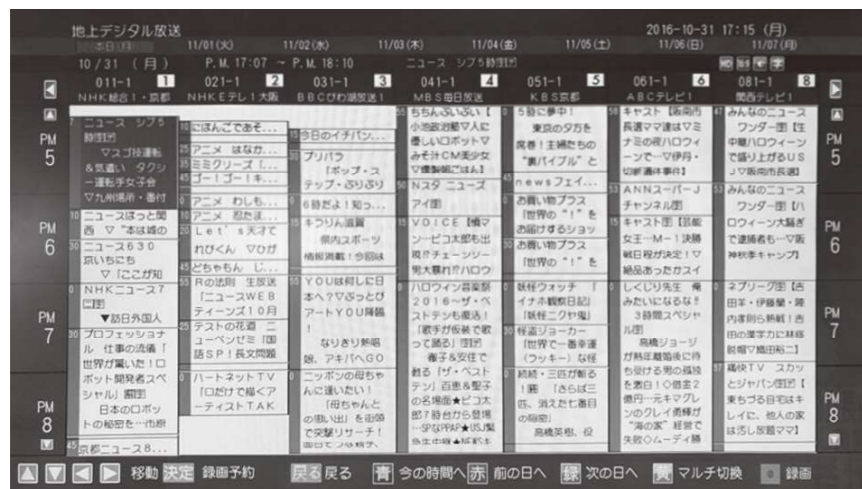
番組表をみる

地上デジタル放送では当日から7日先までの番組表 (EPG) を画面で確認することができます。

<注意>画面の表示は実際のものとは多少異なる場合があります。お買い上げ後はじめて使用するときや、長期間電源ケーブルを抜いていたときなどは、すぐに番組表が表示されない場合があります。番組表の情報をダウンロードするには多少時間がかかることがありますのでご注意ください。

番組表の表示

番組表ボタンを押すと番組表の画面をみることができます。もう一度番組表ボタンを押すか、戻るボタンを押すと元の画面に戻ります。



※番組表ボタンを押すとその直前まで視聴していた番組が選択された状態の番組表が表示されます。
※番組表は矢印ボタンを押すことによってみえていない部分もみることができます。

番組内容をみる

矢印ボタン(左右)でチャンネル、矢印ボタン(上下)で時間帯を選び、決定ボタンを押すと選択している番組の番組内容を表示することができます。

直前まで視聴していた番組以外を選択して、番組内容を表示した場合、視聴予約を選んで決定ボタンを押すと当該の番組を視聴予約することができます。また、録画予約を選択すると当該の番組を録画することができます。

戻るボタンを押すと元の画面に戻ります。

※録画予約された番組は、番組名の前に時計のマークが表示されます。
※同じ時間帯に複数の番組を録画、視聴することはできません。



使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



翌日、翌々日の番組表をみる

緑ボタンを押すと、翌日の番組表をみることができます。また、赤ボタンを押すと前日の番組表をみることができます。青ボタンを押すと、現在の時刻の番組表に戻ることができます。

マルチ表示をする

黄ボタンを押すと、番組表をマルチ表示にすることができます。

番組表から番組を予約する

視聴予約

- ①番組表内で視聴予約したい番組を選択して決定ボタンを押すと、番組情報画面が表示されます。
- ②矢印ボタンで視聴予約を選択し決定ボタンを押すと、予約設定画面が表示されます。矢印ボタンで録画を選択し決定ボタンを押すと、視聴予約されます。戻るボタンを押すと、予約内容が保存されます。

※視聴予約された番組は、番組名の前に青い時計マークが表示されます。
※既に放送が始まっている番組は番組表から視聴予約することはできません。

録画予約

- ①番組表内で録画予約したい番組を選択して決定ボタンを押すと、番組情報画面が表示されます。
- ②矢印ボタンで録画予約を選択し決定ボタンを押すと、予約設定画面が表示されます。矢印ボタンで録画を選択し決定ボタンを押すと、録画が予約されます。戻るボタンを押すと、予約内容が保存されます。
- ③番組表内で録画予約したい番組を選択してリモコンの録画ボタンを押すことでも、録画予約することができます。

※録画予約された番組は、番組名の前に赤い時計のマークが表示されます。
※既に放送が始まっている番組は番組表から録画することはできません。録画したい番組の放送画面を表示しリモコンの録画ボタンを押すと、録画することができます。

戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。

番組表をみる

使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



チャンネル設定

本機は設定メニュー画面から各入力画面ごとにテレビの画質や音質を調整したり様々な設定をすることができます。

1 設定画面を表示する

設定ボタンを押して設定メニュー画面を表示します。矢印ボタン(左右)を使ってチャンネル設定画面を表示し、矢印ボタン(上下)で各項目に移動します。



2 選択・調整する

項目で決定ボタンを押すと項目の内容を選択することができます。戻るボタンか設定ボタンを押すと前の画面に戻ります。

<注意>画面の表示は実際のものとは多少異なる場合があります。

受信レベル

現在割り当てられているチャンネルの受信状態の確認を行うことができます。受信周波数にカーソルを合わせて矢印(左右)ボタンでチャンネルを選択することができます。アンテナレベルが不足している場合は、アンテナレベルの画面を確認しながらアンテナの調整をします。



※高所での作業は危険です。アンテナの調整については、販売店にご相談ください。
※受信レベルは60以上が正常に視聴できる目安となっています。受信レベルが極端に低い場合はアンテナの位置を調整するなど、電波を良好にすることをおすすめします。

チャンネルスキャン

受信地域が変わった時などに、チャンネルを再設定することができます。スキャン実行にカーソルを合わせて決定ボタンを押すとチャンネルスキャンが始まります。戻るボタンか設定ボタンを押すと前の画面に戻ります。

スキャン種別

<初期スキャン>

すでに登録しているチャンネルを一旦破棄して、はじめからチャンネルスキャンを行い、地上デジタル放送のチャンネルの再設定を行うことができます。

<再スキャン>

すでに登録している地上デジタル放送のチャンネルに情報を更新します。



対象周波数

スキャンを行う周波数帯を設定することができます。

受信地域

お住まいの地域を設定することができます。

※再スキャンを行う場合には、受信地域を変更することはできません。



使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



チャンネル設定

地上デジタル放送リモコン設定

地上デジタル放送時のリモコンのボタン毎に受信/スキップを編集することができます。



①現在登録されているチャンネルが一覧で表示されます。矢印ボタン(上下)で受信するかスキップするかを編集したいチャンネルにカーソルを合わせ、矢印ボタン(左右)で該当チャンネルの受信とスキップを切り換えることができます。スキップを設定すると、チャンネル+/-ボタンでチャンネルを切り換えるときに設定したチャンネルをスキップします。



②戻るボタンか設定ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



視聴設定

本機は設定メニュー画面から各入力画面ごとにテレビの画質や音質を調整したり様々な設定をすることができます。

1 設定画面を表示する

設定ボタンを押して設定メニュー画面を表示します。矢印ボタン(左右)を使って視聴設定画面を表示し、矢印ボタン(上下)で各項目に移動します。



2 選択・調整する

項目で決定ボタンを押すと項目の内容を選択・調整することができます。戻るボタンか設定ボタンを押すと前の画面に戻ります。
 <注意>画面の表示は実際のものとは多少異なる場合があります。

映像設定

矢印ボタン(上下)で各項目に移動し、矢印ボタン(左右)を使って項目の内容を調整することができます。決定ボタンを押して項目を決定します。戻るボタンか設定ボタンを押すと前の画面に戻ります。



映像モード	あらかじめシーンに合わせた映像設定を下記の中から選んで放送を楽しむことができます。 標準・・・バランスの取れた画質 スポーツ・・・スポーツ鑑賞をより楽しむための画質 映画・・・映画鑑賞をより楽しむための落ち着いた画質 ゲーム・・・ゲームをするのに適した画質 鮮明・・・コントラストが強い画質 溫和・・・明るさを抑えた温かみのある画質 ユーザー・・・設定画面より設定項目を個別に調整した画質 ※お買い上げ時は「標準」に設定されています。 ※映像モードを選択すると、自動的に「明るさ」「コントラスト」「色合い」「シャープネス」「色の濃さ」「色合い」などの設定項目も変更されます。 ※リモコンの映像モードボタンを押しても設定することができます。
明るさ	画面の明るさを調整します。 ※映像モードを「ユーザー」にセットした場合、調整することができます。
コントラスト	画面のコントラストを調整します。 ※映像モードを「ユーザー」にセットした場合、調整することができます。
色合い	画面の色合いを調整します。
シャープネス	画面のシャープネスを調整します。 ※映像モードを「ユーザー」にセットした場合、調整することができます。
カラー	画面の色の濃さを調整します。 ※映像モードを「ユーザー」にセットした場合、調整することができます。
バックライト	画面のバックライトを調整します。 ※映像モードを「ユーザー」にセットした場合、調整することができます。
ノイズリダクション	画像のノイズを軽減することができます。 自動/低/中/高/オフの4つから選択することができます。 ※お買い上げ時は「オフ」に設定されています。
色温度	画面の色温度を調整します。ノーマル、クール(寒色)、ウォーム(暖色)の中から選択することができます。
リセット	選択して決定ボタンを押すと、お買い上げ時の画質に設定されます。

使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



音声設定

矢印ボタン(上下)で各項目に移動し、矢印ボタン(左右)を使って項目の内容を調整することができます。決定ボタンを押して項目を決定します。戻るボタンか設定ボタンを押すと前の画面に戻ります。



音声モード	あらかじめシーンに合わせた設定の中からお好みの音声設定を選んで放送を楽しむことができます。 標準・・・バランスの取れた音質 映画・・・映画鑑賞をより楽しむための音質 ニュース・・・人の声をよりクリアに聞かすための音質 音楽・・・コンサートの映像など音楽をより楽しむための音質 ユーザー・・・設定画面より設定項目を個別に調整した音質 ※お買い上げ時には「標準」に設定されています。 ※リモコンの音声モードボタンを押しても設定することができます。
自動ボリューム	状況に合わせて自動的に音量を調節する機能を設定することができます。 ※お買い上げ時には「オン」に設定されています。
スピーカーバランス	左右のスピーカーのバランスを調整します。
リセット	選択して決定ボタンを押すと、お買い上げ時の音質に設定されます。

<注意>画面の表示は実際のものとは多少異なる場合があります。

視聴設定

使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



視聴設定

省エネモード

画面の明るさを抑え、消費電力を節約することができます。

「オフ」「低」「中」「高」の4つの中から選択することができます。

矢印(上下)ボタンを使って好みのモードを選択し、決定ボタンを押します。戻るボタンか設定ボタンを押すと元の画面に戻ります。

※リモコンの省電力ボタンでも設定することができます。(→P20)



字幕表示設定

字幕放送時に番組の音声などを字幕で表示することができます。

オ	フ	表示オフ
第1言語		第1言語での字幕表示
第2言語		第2言語での字幕表示

※放送によっては設定しても字幕が表示されない場合があります。

※字幕放送に対応している地上デジタル放送の番組でのみ利用することができます。

※映像自体に字幕が表示されている場合は「表示しない」に設定しても字幕が表示されます。

※字幕は放送信号や処理の速度によって多少画面との時間のずれが生じることがありますが、故障ではありません。

※リモコンの「字幕」ボタンを押して設定することもできます。(→P21)

<注意>画面の表示は実際のものとは多少異なる場合があります。



使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



機器設定

本機は設定メニュー画面から各入力画面ごとにテレビの画質や音質を調整したり様々な設定をすることができます。

1 設定画面を表示する

設定ボタンを押して設定メニュー画面を表示します。矢印ボタン(左右)を使って機器設定画面を表示し、矢印ボタン(上下)で各項目に移動します。

2 選択・調整する

項目で決定ボタンを押す項目の内容を選択することができます。戻るボタンか設定ボタンを押すと前の画面に戻ります。

<注意>画面の表示は実際のものとは多少異なる場合があります。



クイックスタートモード

「オン」に設定すると、電源がオフの状態からオンにするときの時間を短くすることができます。

※お買い上げ時には「オン」に設定されています。



パスワード変更

任意のパスワードを設定することができます。

1 暗証番号を入力する

矢印ボタン(上下)でパスワード変更を選択し決定ボタンを押すと、暗証番号の入力画面が表示されますので、数字ボタンを使って暗証番号を入力し、決定ボタンを押します。

※暗証番号はお買い上げ時には「0000」に設定されています。



2 登録する

新しい暗証番号を数字ボタンを使って入力します。4桁の数字を入力すると再入力画面にカーソルが移動しますので、ここでも再度同じ数字を確認入力し、間違いがなければ決定ボタンを押します。戻るボタンか設定ボタンを押すと前の画面に戻ります。



3 設定完了

これで設定は完了です。

使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



オフタイマー設定

画面のタイマーに関する設定を行うことができます。矢印ボタン(左右)を使って設定したい項目に移動することができます。矢印ボタン(上下)で設定項目を選択し、決定ボタンを押します。戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。



オフタイマー	<p>オフタイマーの時間を設定することができます。矢印(左右)ボタンを押すと、設定時間が表示されますので、矢印(上下)ボタンでお好みの時間を選択し決定ボタンを押します。時間はオフ/30分/60分/120分/180分の中から選べます。戻るボタンか設定ボタンを押すと元の画面に戻ります。</p> <p>※お買い上げ時には「オフ」に設定されています。 ※リモコンのオフタイマーボタンを押しても設定することができます。</p>
無操作時 オフタイマー 設定	<p>一定時間以上操作がない場合に自動的に電源をオフにする機能を設定することができます。矢印(上下)ボタンで「はい」か「いいえ」を選択し決定ボタンを押します。戻るボタンか設定ボタンを押すと元の画面に戻ります。</p> <p>※お買い上げ時には「いいえ」に設定されています。</p>
無信号時 オフタイマー 設定	<p>外部機器からの入力信号がまったくないときや、表示中のチャンネルの放送終了から一定時間たったときに、自動的に電源をオフにする機能を設定することができます。矢印(上下)ボタンで「はい」か「いいえ」を選択し決定ボタンを押します。戻るボタンか設定ボタンを押すと元の画面に戻ります。</p> <p>※お買い上げ時には「はい」に設定されています。</p>

使用するボタン
白い部分が使用するボタンです。



本機は設定メニュー画面から各入力画面ごとにテレビの画質や音質を調整したり様々な設定をすることができます。

1 設定画面を表示する

設定ボタンを押して設定メニュー画面を表示します。矢印ボタン(左右)を使ってシステム情報画面を表示し、矢印ボタン(上下)で各項目に移動します。



2 選択・調整する

項目で決定ボタンを押すと項目の内容を選択することができます。戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。

<注意>画面の表示は実際のものと多少異なる場合があります。

言語設定

メニュー設定画面や設定項目の表示言語を変更することができます。日本語と英語から選択することができます。矢印ボタン(上下)を使って項目を選択し、決定ボタンを押します。



※お買い上げ時には「日本語」に設定されています。

設定初期化

本機をお買い上げ時の状態に初期化することができます。

矢印ボタン(上下)で設定初期化を選択し決定ボタンを押します。暗証番号の入力画面が表示されますので、数字ボタンで暗証番号を入力し、決定ボタンを押します。初期化実行の確認画面が表示されますので、初期化する場合は「はい」を、やめる場合は「いいえ」を選んで決定ボタンを押します。戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。「はい」を選んで決定ボタンを押すと、初期化が開始されます。動作終了まで本機の操作は行わないでください。

※初期化を行うと、チャンネル設定をはじめとするすべての設定が初期の値に戻ります。

※初期化実行後は自動的に本機が再起動されます。



使用するボタン
白い部分が使用するボタンです。



システム情報

決定ボタンを押すと、B-CASカードの情報、本機のソフトウェアバージョン、ボード名、パネル名、ビルド時間を確認することができます。
戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。



使用するボタン
白い部分が使用するボタンです。



使用するボタン
白い部分が使用するボタンです。



本機は設定メニュー画面から各入力画面ごとに録画用HDDの設定や録画に関する様々な設定をすることができます。

1 設定画面を表示する

設定ボタンを押して設定メニュー画面を表示します。矢印ボタン(左右)を使って録画設定画面を表示し、矢印ボタン(上下)で各項目に移動します。



2 選択・調整する

項目で決定ボタンを押すと項目の内容を選択することができます。戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。

<注意>画面の表示は実際のものとは多少異なる場合があります。

HDD設定

決定ボタンを押すと、接続しているハードディスクの容量と空き容量を表示します。赤ボタンを押すと、ハードディスクのフォーマットを行います。

※既に録画済みの番組やデータがあるハードディスクをフォーマットすると、保存データが消去されますのでご注意ください。



録画設定

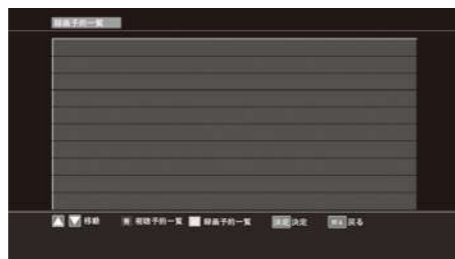
デフォルトの録画設定を行います。録画先のハードディスク、録画優先度、録画時間を設定することができます。



録画設定

録画予約一覧

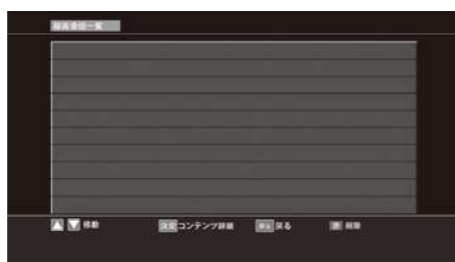
決定ボタンを押すと、録画予約一覧が表示されます。
青ボタンで視聴予約一覧に切り換えることができます。



※リモコンの録画設定ボタンを押しても、録画予約一覧を表示することができます。

録画リスト

決定ボタンを押すと、録画リストが表示されます。矢印ボタンで番組を選択して決定ボタンを押すと、再生することができます。
削除する場合は、矢印ボタンで番組を選択してリモコンの赤ボタンを押すと「削除しますか?」とメッセージが表示されます。「はい」を選択し決定ボタンを押すと、録画した番組を削除することができます。



※リモコンの録画リストボタンを押しても、録画リストを表示することができます。

使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



ハードディスクを接続する

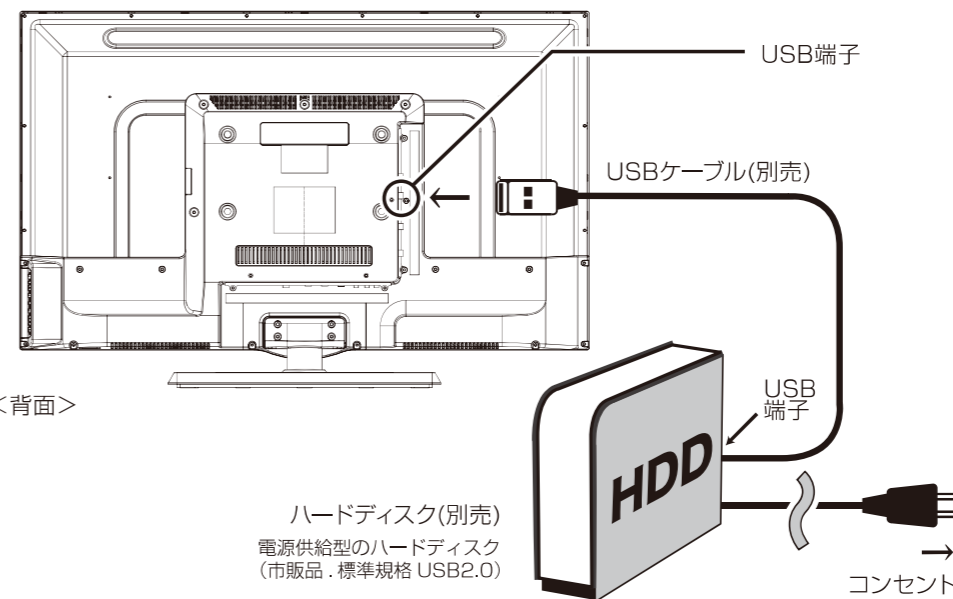
本製品は別売の録画用ハードディスクを接続して視聴している番組を録画することができます。

本製品で番組を録画するためには、別売のUSB接続ハードディスク (HDD) および接続用USBケーブルが必要です。

1 本体とUSBハードディスクを接続する

本体のUSB端子と録画用ハードディスクのUSB端子を接続します。

※本体、ハードディスクともに電源をオフにしてからUSBケーブルを接続後、ハードディスクの電源プラグをコンセントに挿し込んでください。
※ハードディスクの機種により、テレビ本体から電源を供給するタイプのももあります。
※本製品とハードディスクとの相性等に起因するトラブルについては対応しかねます。ご了承ください。



<背面>

ハードディスク(別売)
電源供給型のハードディスク
(市販品・標準規格 USB2.0)

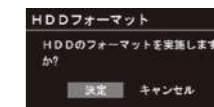
使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



2 ハードディスクをフォーマットする

ハードディスクの電源をオンにし、本体の電源もオンにします。
はじめて接続するハードディスクの場合、フォーマットの確認画面が表示されますので、矢印ボタンで「決定」を選択して決定ボタンを押します。
フォーマットが始まりますので、しばらくそのままお待ちください。



※ハードディスクを接続後、本製品が外部機器を認識するまで多少時間がかかることがあります。
※フォーマット中にハードディスクを取り外したり、本体やハードディスクの電源を切ると、ハードディスクが破損して使用できなくなることがありますのでご注意ください。

フォーマットが完了したら、戻るボタンで終了します。

ハードディスクの取り外しかた

- ハードディスク及びテレビ本体の電源をオフにしてから取り外してください。
- 再生中や録画中など、ハードディスクを使用中に取り外すとハードディスクが破損して使用できなくなることがありますのでご注意ください。

番組を録画する

見ている番組を直接録画する

視聴中の番組を録画する

- 録画したい番組を選局してリモコンの録画ボタンを押します。
- 「録画を開始しますか」のメッセージが表示されます。矢印ボタンで「はい」を選択し、決定ボタンを押すと録画が始まります。

録画を停止する

録画中にリモコンの■(停止)ボタンを押すと「録画を停止しますか?」とメッセージが表示されます。「決定」を選択し、決定ボタンを押すとその時点までの録画がハードディスクに保存されます。

- ※リモコンや本体のボタンで他の操作を行う場合も録画停止確認メッセージが表示され、「はい」を選択すると録画停止します。
- ※録画中は、他番組の視聴はできません。
- ※録画中は一部操作ができません。
- ※録画中でも、ハードディスクまたは設定したパーティションの容量が不足した場合には、自動的に録画が停止します。ハードディスクの容量は十分あるか、確認してから録画をしてください。

録画予約する

番組表から番組を選択して録画予約する

- リモコンの番組表ボタンを押して番組表を表示し、録画予約したい番組を選択して決定ボタンを押すと、番組情報画面が表示されます。
- 矢印ボタンで録画予約を選択し決定ボタンを押すと、予約設定画面が表示されます。矢印ボタンで録画を選択し決定ボタンを押すと、録画が予約されます。戻るボタンを押すと、予約内容が保存されます。
- 番組表内で録画予約したい番組を選択してリモコンの録画ボタンを押すことでも、録画予約することができます。

- ※リモコンや本体のボタンで他の操作を行う場合も録画停止確認メッセージが表示され、「はい」を選択すると録画停止します。
- ※録画中は、他番組の視聴はできません。 ※録画中は一部操作ができません。
- ※録画中でも、ハードディスクまたは設定したパーティションの容量が不足した場合には、自動的に録画が停止します。ハードディスクの容量は十分あるか、確認してから録画をしてください。

予約した番組の確認と削除

リモコンの録画設定ボタンを押すか、リモコンの設定ボタンを押してメニュー設定画面を表示し、録画設定画面から録画予約一覧を選択し決定ボタンを押すと予約リスト画面が表示されます。決定ボタンを押して予約リスト画面を表示し、削除したい予約を選択してリモコンの赤ボタンを押すと、「削除しますか?」とメッセージが表示されます。「はい」を選択し、決定ボタンを押すと予約を削除することができます。

- ※番組表ボタンからも操作が行えます。
- ※戻るボタンで視聴画面に戻ってください。

下記の場合には録画予約ができません。

- 予約時間が重複している場合 → いずれかの録画予約、または視聴予約をキャンセルしてください。
- 予約開始時に録画設定したハードディスクが接続されていない場合 → 録画設定したハードディスクを接続してください。
- 接続されているハードディスクの容量が不足している場合 → 他のハードディスクを接続してください。 → 既に録画されているファイルを削除してください。
- 受信レベルが低下している場合 → アンテナ線や入力端子の接続、外部アンテナなどをご確認ください。

使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



録画した番組をみる

録画番組を再生する

リモコンの録画リストボタンを押すか、リモコンの設定ボタンを押して録画設定画面を表示し録画リストを選択すると、録画リストが表示されます。矢印ボタンで再生したい番組を選択し決定ボタンを押します。

再生を停止する

リモコンの停止ボタンを押します。再生が停止します。

再生を一時停止する

再生中にリモコンの一時停止ボタンを押すと、再生が一時停止します。通常再生に戻るには再生ボタンを押してください。

早送り/早戻しする

再生中にリモコンの早送りボタンを押すと早送り再生をすることができます。ボタンを押すごとに早送りのスピードが変化します。また、再生中にリモコンの早戻しボタンを押すと早戻し再生をすることができます。ボタンを押すごとに早戻しのスピードが変化します。

前後の番組へ移動する

再生中にリモコンの次へボタンを押すと、再生中の番組の次に録画されている番組の再生が始まります。前へボタンを押すと、再生中の番組の前に録画されている番組の再生が始まります。

使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



録画した番組をみる／予約リストをみる

録画した番組を見る

リモコンの録画リストボタンを押すか、リモコンの設定ボタンを押して録画設定画面を表示し録画リストを選択すると、録画リストが表示されます。矢印ボタンで再生したい番組を選択し決定ボタンを押します。



- ※番組視聴中に画面表示ボタンを押すと、録画番組の詳細が画面に表示されます。
- ※再生中は選局や入力切替の操作はできません。
- ※再生中は放送切替や録画リスト表示など、一部の操作をすることができません。
- ※録画リストに複数の番組がある場合、再生が終わった後次の番組が自動的に再生されます。

録画／録画リストの確認と削除

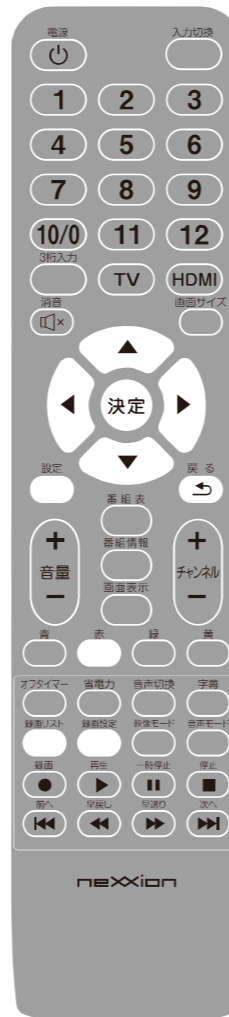
リモコンの録画リストボタンを押すか、リモコンの設定ボタンを押して録画設定画面を表示し録画リストを選択します。

削除する場合は、録画リストから矢印ボタンで番組を選択し赤ボタンを押すと「削除しますか?」とメッセージが表示されます。「はい」を選択し、決定ボタンを押すと削除されます。

※削除した番組はハードディスクから完全に削除されますのでご注意ください。

使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



録画の制限事項

- 本製品は、現在視聴している番組およびテレビ視聴していない時の予約録画に対応しています。録画中の放送波にて録画している番組以外を視聴することはできません。
- 録画時間の目安：(例) 500GBのハードディスクで約60時間 ※番組のデータ量によって録画可能時間は変わります。
- 1時間録画した場合でも60分ちよほどの録画時間とはなりません。録画開始時や終了時の数秒のズレは機器の仕様となりますのでご了承ください。
- 本製品で利用できるハードディスクの容量は200GB～2TBです。 ※データ転送方式が2013年現在の規格から変更されたハードディスクでは使用できない場合があります。
- 本製品はGPT(GUIDパーティションテーブル)方式のハードディスクには対応しておりません。MBR方式でご使用ください。
- ビデオやパソコンなど外部入力の映像などを記録することはできません。テレビの録画のみ可能です。
- 本製品で録画したデータは、パソコンなどで視聴することはできません。
- 番組表は約7日後まで取得できます。これ以上先の録画予約はできません。番組表で表示されていない日時を指定した場合の予約録画の正常な録画については保証いたしません。
- 同じ時間帯に重複した録画をすることはできません。
- 本製品へ接続して使用するUSBで接続するハードディスクは、事前に試し録画をして正しく録画できることを確かめてください。
- 著作権保護のため本製品で録画した番組は移動や複製をすることはできません。
- 本製品で録画した番組は、本製品でのみ視聴することができます。同機種でも視聴できません。
- 本製品の故障などの理由により修理や交換をした場合には、すでに録画していた録画データが視聴できなくなることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本製品を購入されたお客様が録画した番組については、個人的または家族内その他これに限られた範囲内で楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。録画したものを権利者の許諾なく複製や改変をしたり、インターネットなどで送信や掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為についても原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。
 - ※録画した番組を自分のホームページに載せる。
 - ※録画した番組をメールなどで他人に送る。
 - ※録画した番組を営利目的で不特定多数へ貸す。
 著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もありますので自己責任のもとでご利用ください。なお著作権法違反によって生じた損害に関して弊社は一切の責任を負いません。

ハードディスク(HDD)などの記録メディア

- 本製品で利用できるハードディスク(HDD)などの記録メディアは、半永久的に使用や保存ができるものではありません。
- 録画した記録メディアが物理的に破損したり、内部のデータが損傷することで録画した番組が再生できなくなる可能性があります。ディスクなどへ恒久的に記録しておきたい番組を録画する場合には、複製や移動ができる他の外部機器での録画を推奨します。

メーカー名	シリーズ名	型番
BUFFALO	HD-LCU3-D シリーズ	HD-LC1.0U3-BKD HD-LC2.0U3-BKD
I・O DATA	HDCL-U シリーズ	HDCL-U1.0K HDCL-U2.0K
ELECOM	LCH-DBTUTV シリーズ	LCH-DB1TUTV LCH-DB2TUTV

(平成27年9月現在)

- 右に記載しているハードディスクは弊社で使用を推奨するものです。
- ※ハードディスクにつきましては、それぞれの製品の取扱説明書をご確認ください。
- ※右記製品の使用規格に準ずるハードディスクであれば他社製品であっても使用出来ますが、正常に使用することができなくても弊社は責任を負いません。
- ※本製品の製造後に発売された新しいデータ書き込み速度やデータ転送方法では使用できない場合があります。
- ※2TBを超えるハードディスクはご使用いただけません。
- ※上記推奨機種以外でもパーティション方式がMBRであればご使用可能です。

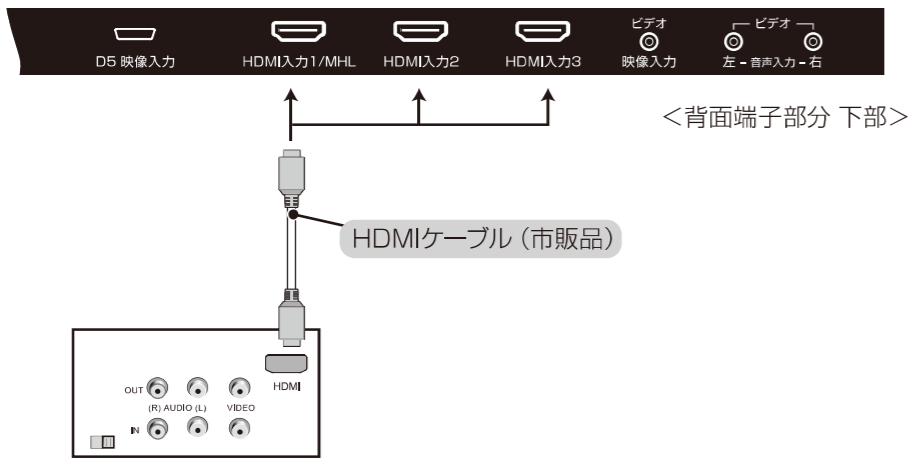
注意事項

- ※本製品で使用したハードディスクを本製品以外と接続しても、録画した番組を視聴できません。また、本製品へ録画済みハードディスクを接続しても再生はできません。本製品以外へハードディスクを接続すると初期化されて、保存したデータが消去されるおそれがあります。
- ※本製品以外で使用していたハードディスクを本製品で使用する場合は、P.43を参考していただき、ハードディスクのフォーマットを行ってください。初期化するとハードディスク内のデータは消去されますのでご注意ください。
- ※USBで接続するハードディスクを本製品で初めてご使用になる場合は、P.43を参照していただき、本製品へ接続してフォーマットを行ってから使用してください。
- ※フォーマットを行うとパソコンのデータなどがハードディスクに保存されている場合は消去されてしまいますのでご注意ください。
- ※USBフラッシュメモリは使用しないでください。
- ※電源非供給(バスパワータイプ)のハードディスクは使用しないでください。
- ※Flash-SSD(ソリッドステートドライブ)は使用しないでください。
- ※電源供給型のハードディスク(標準規格USB2.0HDD)を使用してください。使用時にはハードディスクに付属している取扱説明書も合わせてご確認ください。
- ※ハードディスク使用中(アクセス中)に本製品から取り外すと、ハードディスクが破損したり、以降の録画、再生が正常におこなえなくなることがありますのでご注意ください。
- ※ハードディスクを取り外す場合には、使用中でないことを確認し、ハードディスクとテレビ本体の電源をオフにしてから取り外してください。
- ※USBハブなどを使用しないで下さい。複数台のハードディスクを接続しての使用はできません。
- ※録画した番組を再生すると、映像と音声が多量にずれる場合がありますので、ご了承ください。
- ※USBケーブルやハードディスクは信頼のおける高品質なものをお使いください。

HDMI対応機器を接続する

＜接続する前に＞

本体に接続する機器の取扱説明書も併せてよくお読みください。
ケーブルを接続するときは安全の為、本体、外部機器の電源コードを抜いて作業してください。接続するプラグは各機器にしっかりと差し込んでください。



接続する外部機器の背面＜出力端子＞
※背面は機器の種類により異なる場合があります。

図は接続の略図です。図は実際の接続部とは多少異なることがあります。
※接続する機器の映像出力端子の種類によって接続方法が異なります。

- 1 図のようにHDMIケーブル (市販品) を本体と外部機器に接続してください。
- 2 HDMIケーブルの接続が完了したら本体とACアダプターを接続し、プラグをコンセントに接続してください。
※電源コードの接続に関してはP14を参照してください。
- 3 本体の電源を入れ、入力切換ボタンを押して入力をHDMIに切り換えると、接続機器に出力を切り換えることができます。
- 4 外部機器の電源を入れて再生を開始してください。
※ノイズが入る場合がありますので外部機器と本製品との間を離してください。
※PCのHDMIコネクタを使用した表示はサポートしていません。
※HDMI連動機能について
本製品と外部機器をHDMIで接続すると、一部の機器で連動動作ができる場合がありますが、その動作については、保証いたしかねます。

入力ソース
テレビ
ビデオ
D 端子
HDMI1
HDMI2
HDMI3

[画面切換時の注意]

※画面を切り換える時、信号に合わせて本製品内部で画面調整を行う為、画面が一瞬ちらつくことがあります。故障ではありません。また切り換え時に少し時間がかかりますが、故障ではありません。

使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



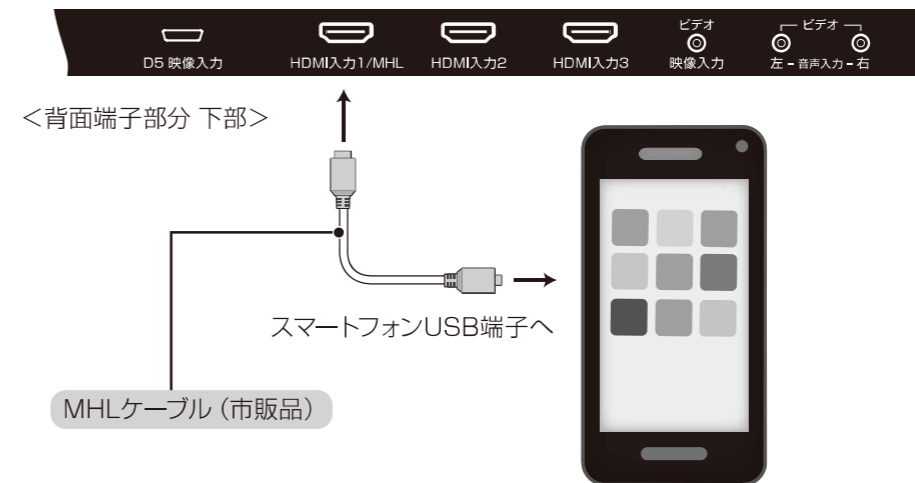
MHL対応スマートフォンを接続する

本機はMHL対応のスマートフォンをHDMI1端子に接続し、スマートフォンの画面を本機の画面に表示することができます。
画面を表示すると同時に、スマートフォンの充電を行えます。

※機種によっては充電ができない場合があります。
※本機はiPhoneには接続できません。

＜接続する前に＞

本体に接続する機器の取扱説明書も併せてよくお読みください。
ケーブルを接続するときは安全の為、本体、外部機器の電源コードを抜いて作業してください。接続するプラグは各機器にしっかりと差し込んでください。



図は接続の略図です。図は実際の接続部とは多少異なることがあります。
※接続する機器の映像出力端子の種類によって接続方法が異なります。

- 1 図のようにMHL対応のHDMIケーブル (市販品) を本体のHDMI1端子とMHL対応のスマートフォンに接続してください。
- 2 本体の電源を入れ、入力切換ボタンを押して入力をHDMI1に切り換えると、スマートフォンに出力を切り換えてスマートフォンの画面を表示することができます。
※スマートフォンの機種によっては、入力を切り換えると正しく表示されない場合があります。その場合はケーブルを抜き差しして再度表示してください。
※MHL接続によるスマートフォンの画面表示がうまくされない場合は、一度テレビのコンセントを抜いて電源をオフにして、ケーブルの抜き差しを行ってください。
※ノーブランド品のケーブルをご使用の場合は、MHLケーブルの品質により正しく表示されない場合がございます。MHLケーブルを交換して再度ご確認ください。

使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



入力ソース
テレビ
ビデオ
D 端子
HDMI1
HDMI2
HDMI3

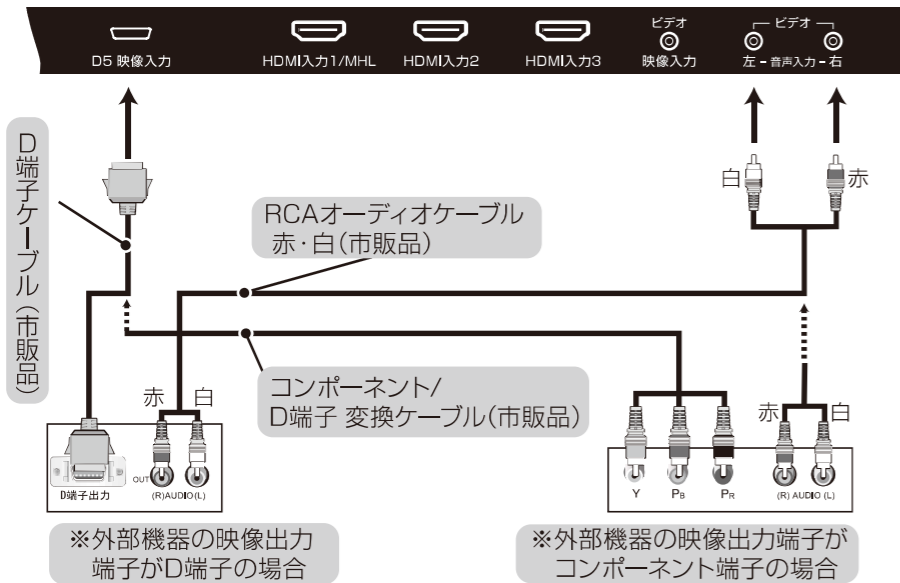
※スマートフォンの操作については、お使いのスマートフォンの取扱説明書をご確認ください。
※大切なデータは万が一の場合にそなえ、他の記憶媒体などに、定期的にバックアップされることをお勧めします。
※接続するスマートフォンのMHLのバージョンやAndroidのバージョンにより、MHL接続による表示が不安定になる場合がありますが、本機側の不具合ではありません。

※MHLケーブルを使用してスマートフォン等を接続する場合、これによる故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。
※MHL, Mobile High-Definition LinkはMHLLicensing, LLCの商標です。
※「iPhone」は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

D5映像端子を使って機器を接続する

＜接続する前に＞
 本体に接続する機器の取扱説明書も併せてよくお読みください。
 ケーブルを接続するときは安全の為、本体、外部機器の電源コードを抜いて作業してください。接続するプラグは各機器にしっかりと差し込んでください。

＜背面端子部分 下部＞



接続する外部機器の背面＜出力端子＞
 ※背面は機器の種類により異なる場合があります。

図は接続の略図です。図は実際の接続部とは多少異なることがあります。
 ※接続する機器の映像出力端子の種類によって接続方法が異なります。

- 1 図のようにD端子ケーブル(市販品)または、コンポーネント/D端子変換ケーブル(市販品)で本体のD端子と外部機器の出力端子を接続してください。
- 2 RCAオーディオケーブル(市販品)で本機のAV音声入力端子と外部機器の音声出力端子を接続してください。
- 3 各ケーブルの接続が完了したら本体とACアダプターを接続し、コンセントに接続してください。
 ※電源コードの接続に関してはP14を参照してください。
- 4 本体の電源を入れ、入力切換ボタンを押して入力をD端子に切り換えると、接続機器に出力を切り換えることができます。
- 5 外部機器の電源を入れて再生を開始してください。
 ※ノイズが入る場合がありますので、外部機器と本製品との間は離してください。

[画面切換時の注意]

画面を切り換える時、信号に合わせて本製品内部で画面調整を行う為、画面が一瞬ちらつくことがあります。故障ではありません。また切り換え時に少し時間がかかりますが、故障ではありません。

使用するボタン

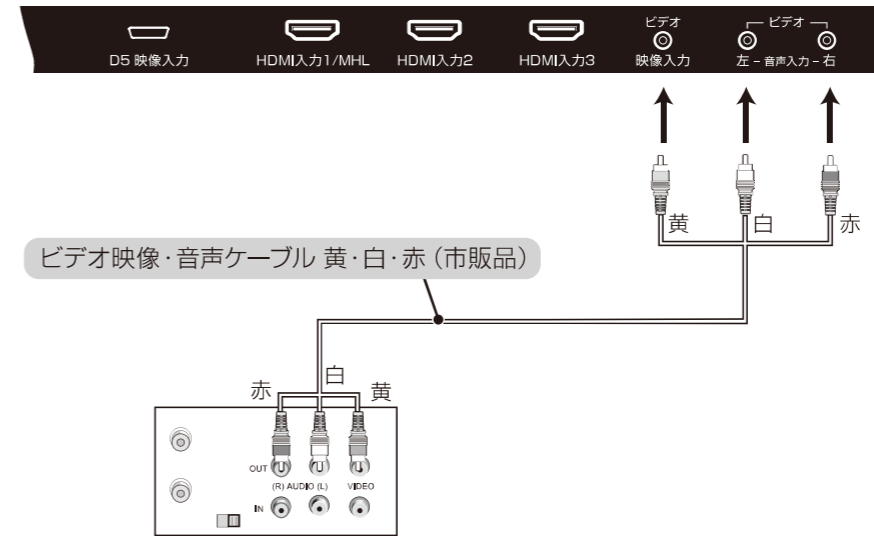
白い部分が使用するボタンです。



ビデオ映像端子を使って機器を接続する

＜接続する前に＞
 本体に接続する機器の取扱説明書も併せてよくお読みください。
 ケーブルを接続するときは安全の為、本機、外部機器の電源コードを抜いて作業してください。接続するプラグは各機器にしっかりと差し込んでください。

＜背面端子部分 下部＞



接続する外部機器の背面＜出力端子＞
 ※背面は機器の種類により異なる場合があります。

図は接続の略図です。図は実際の接続部とは多少異なることがあります。
 ※接続する機器の映像出力端子の種類によって接続方法が異なります。

- 1 図のようにビデオ映像・音声ケーブル(市販品)を黄・白・赤の各端子の色に合わせて外部機器と本体に接続してください。
 ※映像端子と音声端子を逆に接続すると、音声も映像も出力できません。それぞれの端子が正しく接続されているか必ずご確認ください。
 ※接続する機器の音声出力端子がひとつしかない場合は、白の端子だけを接続してください。この場合、音声は片方のスピーカーからのみ出力されます。
- 2 ビデオ映像・音声ケーブルの接続が完了したら、本体とACアダプターを接続し、プラグをコンセントに接続してください。
 ※電源コードの接続に関してはP14を参照してください。
- 3 本体の電源を入れ、入力切換ボタンを押して入力をビデオに切り換えると、接続機器に出力を切り換えることができます。
- 4 外部機器の電源を入れて再生を開始してください。
 ※ノイズが入る場合がありますので、外部機器と本製品との間には十分な距離をおいてください。

[画面切換時の注意]

画面を切り換える時、信号に合わせて本製品内部で画面調整を行う為、画面が一瞬ちらつくことがあります。故障ではありません。また切り換え時に少し時間がかかりますが、故障ではありません。

D5映像端子を使って接続を接続する

ビデオ映像端子を使って接続を接続する

スピーカーやイヤフォン/ヘッドフォンを接続する

製品仕様

<接続する前に>

本体に接続する機器の取扱説明書も併せてよくお読みください。
ケーブルを接続するときは安全の為、本体、外部機器の電源コードを抜いて作業してください。
接続するプラグは各機器にしっかりと差し込んでください。

<背面端子部分 横部>



イヤフォン/ヘッドフォン
スピーカー (市販品)



図は接続の略図です。図は実際の接続部とは多少異なることがあります。
※接続する機器の出力端子の種類によって接続方法が異なります。

イヤフォン/ヘッドフォンの場合

- 図のようにイヤフォン/ヘッドフォン (市販品) の端子を本体のヘッドフォン端子と接続してください。
※ヘッドフォン端子の抜き差しは音量を小さくしてから行ってください。

スピーカーの場合

- スピーカー (市販品) の端子を本体のヘッドフォン端子と接続してください。
※スピーカーの抜き差しは音量を小さくしてから行ってください。
- スピーカーから音声を出力することができます。
※ノイズが入る場合がありますので、外部機器と本体との間は離してください。
※スピーカーの抜き差しは音量を小さくしてから行ってください。

[画面切替時の注意]

画面を切り換える時、信号に合わせて本製品内部で画面調整を行う為、画面が一瞬ちらつくことがあります。故障ではありません。また切り換え時に少し時間がかかりますが、故障ではありません。

品名	32V型 地上波デジタル ハイビジョン液晶テレビ
型番 (本体色)	ブラック
JANコード	4589684381064
テレビチューナー	地上デジタル放送:○ CATVパススルー対応:○ 電子番組表 (EPG) :○ (8日分) ※2 データ放送対応:×
パネルサイズ ※1	32inch 32V型
解像度	1366 x 768
輝度	200cd/m ²
コントラスト比	3000 : 1
応答速度	10ms
アスペクト比	16 : 9
視野角 (標準値)	上下178度:左右168度
スピーカー出力	6W×2
入出力端子	UHFアンテナ入力端子 (地上デジタル放送) ×1, AV入力端子 (RCA) ×1, D5映像入力端子×1, HDMI入力端子 (ver1.3準拠) ×3, φ3.5mmステレオヘッドホンジャック×1, USB端子×1
HDD録画機能	最大番組録画2TBまで、EPG録画予約・日付指定録画対応、追っかけ再生対応
電源	AC100V (50/60Hz) /DC12V 3A
消費電力	35W
年間消費電力 ※3	61.0kWh/年
省エネ達成率	115%
待機電力	0.5W
最大消費電力	38W
動作環境	温度:0~40℃ (結露なきこと) /湿度:35~80% (結露なきこと)
本体寸法	740mm (W) ×250mm (D) ×490mm (H) /スタンド取付時
本体質量	約5.4kg
付属品	リモコン(1), リモコン用単四乾電池(2), B-CASカード(1) スタンド用部品[プレート(1),取付用ネジ(4)], 取扱説明書(1), 保証書(1)

※1 ディスプレイの型は画面寸法を表すものではなく、有効画面の外形体寸法を基準とした大きさの目安です。

※2 番組表情報をダウンロードするには多少時間がかかります。

※3 年間消費電力量は、省エネ法に基づいた算定式で算出した、一年間に使用する電力量です。

※製品改善の為予告なく外観、仕様を変更する場合がありますので、ご了承ください。

■CATV(ケーブルテレビ)でデジタル放送をご覧のお客様は、ご契約されているケーブルテレビ会社の伝送方式をご確認ください。
各ケーブルテレビ会社によって、伝送方式が異なります。

■本製品はモデム/LANは搭載されておりません。

そのため双方向番組サービス、連動データ放送はご利用になれません。ご了承ください。

■本取扱説明書に記載されている企業名、製品名等は各社の商標または登録商標です。
また、商標及び登録商標に関して特に注記のない場合でも、これを尊重します。

故障かも・・・と思ったら

症状	考えられる原因	対処法	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。	P.14
電源が入っているが画面に何も映らない	異なる外部入力モードになっている。	入力切換ボタンを押して入力モードを確認してください。	P.13
	B-CASカードが正しく挿入されていない。	B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。	P.15
	チャンネルスキャンが正しく行われていない。	設定メニュー画面からチャンネル設定のチャンネルスキャンを行ってください。	P.24
	リセットが必要となっている。	メニューボタンを押して、設定メニュー画面から「映像モード」の「リセット」を行ってください。	P.26
電源が入っているのに操作ができない	電源電圧の急激な変化等で正常な動作をしていない。	電源コードをコンセントから抜き、1分ほど待ってから改めてコンセントに差し込んで電源を入れてください。	—
突然電源が切れる	オフタイマーが動作している。	オフタイマーをオフにしてください。	P.20
地上デジタル放送が映らない	B-CASカードが正しく挿入されていない。	B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。	P.15
	アンテナの向きがずれている。	UHFアンテナの角度を調整してアンテナレベルが60以上になるようにしてください。アンテナの調整は専門業者にお問い合わせください。	P.24
	チャンネルスキャンが正しく行われていない。	設定メニュー画面からチャンネル設定のチャンネルスキャンを行ってください。	P.24
	ケーブルテレビの伝送方式がパススルーではない。	ケーブルテレビ会社に伝送方式を確認してください。	—
特定のチャンネルが映らない	アンテナの向き・角度がずれている。	UHFアンテナの角度を調整してアンテナレベルが60以上になるようにしてください。アンテナの調整は専門業者にお問い合わせください。常に受信状態のよくないチャンネルは、市販のブースター（増幅器）を設置することで正常に受信できる場合があります。お近くの電気店にご相談ください。	P.24
地上デジタル放送の映像が乱れる	アンテナの向き・角度がずれている。	UHFアンテナの角度を調整してアンテナレベルが60以上になるようにしてください。アンテナの調整は専門業者にお問い合わせください。	—
	悪天候などにより受信感度が落ちている。 アンテナ線の接続がゆるい、またはプラグ内の芯線が折れたり曲がったりしている。	天候の影響により、映像が乱れることがあります。天候が回復するまでお待ちください。 アンテナ線の接続を確認してください。	— P.14
音声は出るが映像が出ない	「コントラスト」「明るさ」の調整が悪い。	設定メニューから視聴設定の調整をしてください。	P.26
	映像入力端子が正しく接続されていない。	外部入力機器を接続している場合は、映像入力端子が正しく接続されているか確認してください。	P.40-P.43

故障かも・・・と思ったら

故障かも・・・と思ったら

症状	考えられる原因	対処法	参照ページ
音が出ない	音量調整が最小になっている。	音量ボタンを押して音量を調整してください。	P.18
	消音状態になっている。	消音ボタンを押して消音を解除してください。	P.18
	音声ケーブルが接続されていない。	外部入力機器の音声ケーブルが正しく接続されているか確認してください。	P.40-P.43
画面の映りが悪い	アンテナの向き・角度がずれている。	UHFアンテナの角度を調整してアンテナレベルが60以上になるようにしてください。アンテナの調整は専門業者にお問い合わせください。	P.24
	画面の視野角から外れている。	視野角（上下178度/左右178度）の範囲外から見ると、映像が見にくい場合があります。	—
	他のテレビやラジオ、ゲーム機、パソコン、オーディオ、ビデオなどから妨害を受けている。	妨害を受けているものから離してご使用ください。	—
	悪天候などにより受信感度が落ちている。	天候の影響により、映像が乱れることがあります。天候が変わるまでお待ちください。	—
画面の色がおかしい	「映像モード」の調整が悪い。	設定メニューから「映像モード」の調整をしてください。	P.26
画面が暗い	「明るさ」の調整が悪い。	設定メニューから「明るさ」の調整をしてください。	P.26
リモコンが動作しない	電池の極性が正しく入っていない。	電池の＋を確認し、正しい向きでリモコンに入れてください。	P.12
	電池が消耗している。	2本とも新しい電池に入れ替えて再度確認してください。	
	リモコン受信部近くに障害物がある。 リモコン受信部に蛍光灯の光など強い照明が当たっている。	受信部の前から障害物を避け、本機の受光範囲内（左右30度まで）で使用ください。 受信部を強い光から離してください。	
番組表に何も表示されない	番組表の更新が行われていない。	一定時間ひとつのチャンネルを見ることで、そのチャンネルの番組表を取得することができます。	P.22
選局できない 番号ボタンがある	チャンネルが割り当てられていない番号を選局している。 チャンネルの切り換えに時間がかかっている。	チャンネルリスト画面からチャンネルがその番号に割り当てられているか確認してください。 受信信号を処理する時間上、チャンネルの切り換えに時間がかかる場合があります。	P.25

※本製品には高度なソフトウェアが組み込まれています。上記のように正常に動作しなくなった時は、一度電源プラグをコンセントから抜いて、約1分後に再度電源プラグを差し込んでください。
 ※液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが、こちらは故障ではありません。
 ※地上デジタル放送は、地上アナログ放送に比べて数秒遅れて放送されますが、故障ではありません。

故障かも・・・と思ったら

アフターサービス

修理を依頼される前に P46～P47 の「故障かも・・・と思ったら」をよくお読みいただき、症状を確認してください。確認しても症状が改善されない場合は、お買い上げ店または弊社サポートセンターにご相談ください。

■アフターサービスについて

保証書を必ずご確認ください

別途添付してあります保証書については、必ず「お買い上げ日」と「販売店名」の記入があることを確かめてからお買い上げ店よりお受け取りください。

また、内容をよくお読みのうえ、製造番号と製品本体裏面の製造番号をお確かめいただき、大切に保管してください。保証期間はご購入日から 1 年間です。

保証書を紛失された場合や保証書に「お買い上げ日」と「販売店名」の記入がない場合は保証の対象外となります。ご了承ください。

修理をご依頼される場合

本書の P46～P47 の「故障かも・・・と思ったら」に従って症状を確認いただき、

それでも症状が改善されない場合は、まず電源プラグを抜いて

お買い上げの販売店もしくは弊社サポートセンターにご連絡ください。

○保証期間中は保証書の規定に従って、修理させていただきます。

○保証期間を過ぎているときは、修理すれば使用できる場合、ご希望により有償にて修理させていただきます。

<修理を依頼される時にご準備いただきたい内容>

- ・ご住所／ご氏名／お電話番号
- ・製品名／品番／お買い上げ日／お買い上げ店
- ・故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

本製品に関するお問い合わせおよび修理に関するお問い合わせ

ネクシオン サポートセンター

TEL.0570-022-336

<受付時間> 10:00～17:00（土日祝祭日、年末年始、当社休業日を除く）

<住所> 〒339-0072 埼玉県さいたま市岩槻区古ヶ場2-7-9篠崎運輸 古ヶ場センター内

<E-mail> support@nexxion.jp

- 本製品には、保証書がついています。ご購入の販売店名、ご購入年月日のご記入のないものは保証対象外となりますので、ご使用前に必ずご確認ください。



- 本製品ならびに本書は、改善の為予告なく変更する場合がございます。
- 本書の内容の一部、または全ての無断転載を禁じます。
- 本製品の仕様、故障によって生じた直接、間接の損害につきましては当社はその責任を負わないものとします。
- 本書に乱丁、落丁があった場合は、お取り換え致します。販売店、またはサポートセンターにご連絡ください。